

平成29年度 加賀市行政評価 「公開外部評価会」評価テーマ一覧

日	時刻	番号	分野（政策）	テーマ（施策）	事務事業名	担当部（局）	評価委員
11月19日（日）	午前の部 9:00～12:00	1	健康・福祉	①医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます	医師招へい推進策事業	市医療センター（企画経営課）	【委員長】 北陸大学 武田幸男 加賀市社会福祉協議会 山本 甚市 加賀市区長会連合会 竹内 譜実夫 加賀農業協同組合 河島 敏克 加賀市PTA連合会 山本 善光 市民代表 伴 正幸 市民代表 竹本 利夫
					地域医療推進事業	健康福祉部（地域医療推進室）	
				②高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）	健康福祉部（地域包括支援センター）	
					地域福祉コーディネート業務委託事業		
		③障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせるまちづくりを進めます	じりつ支援協議会運営強化事業	健康福祉部（ふれあい福祉課）			
2	産業	④新たな産業の創造に向けた取り組みを進めます	企業誘致推進事業	経済環境部（企業誘致室）			

昼休憩（12:00～13:30）

11月19日（日）	午後の部 13:30～16:30	3	観光	⑤観光PRの強化を進めます	観光交流促進事業	観光戦略部（観光交流課）	【委員長】 北陸大学 武田幸男 加賀市女性協議会 村坂 京子 連合石川かが地域協議会 畑中 政博 加賀商工会議所 西出 正光 加賀市観光交流機構 田向 公一 市民代表 伴 正幸
					コンベンション誘致助成事業		
		4	文化・教育	⑥地域の文化を高揚します	市民文化活動の促進と支援	観光戦略部（観光交流課） 教育委員会（文化財保護課）	
					加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
					北前船の里資料館管理		
		5	都市基盤	⑦市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます	柴山瀉浸水対策事業	上下水道部（下水道課） 建設部	
					⑧地域間ネットワークの整備を進めます	加賀温泉駅前活性化対策事業	
都市計画基礎調査事業							

【加賀市行政評価『公開外部評価会』評価結果】

○日程： 11月19日(日) 午前の部

【第1テーマ】 分野： 健康・福祉

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			
医師招へい推進策事業	拡充	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の招へいは、今後も積極的に行っていくこと。 ・市が行う各種講座等について、継続して行っていくこと。
地域医療推進事業	継続		

【第2テーマ】 分野： 健康・福祉

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			
介護予防・日常生活支援総合事業 (介護予防・生活支援サービス事業)	拡充	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・制度や地域での活動が住民に一層伝わるように工夫すること。 ・地域への働きかけをすすめ、介護予防活動の充実を図ること。
地域福祉コーディネート業務委託事業	拡充		

【第3テーマ】 分野： 健康・福祉

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせるまちづくりを進めます			
じりつ支援協議会運営強化事業	拡充	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の見守りや支え合い制度の充実を図るため、福祉関係者のみならず、地区のまちづくりの方々も交えた仕組み作りを進めること。

【第4テーマ】 分野： 産業

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
新たな産業の創造に向けた取り組みを進めます			
企業誘致推進事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策にも有効であることから、今後も積極的に取り組むこと。

【加賀市行政評価『公開外部評価会』評価結果】

○日程： 11月19日(日) 午後の部

【第5テーマ】 分野： 観光

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
観光PRの強化を進めます			
観光交流促進事業	拡充	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、自然、温泉等の資源を活用し、北陸新幹線加賀温泉開業に向け、官民挙げての取り組みを進めること。 ・加賀市の魅力に磨きをかけ、市外に向けてだけではなく、市民に向けても積極的にPRを進めること。
コンベンション誘致助成事業	拡充		

【第6テーマ】 分野： 文化・教育

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
地域の文化を高揚します			
市民文化活動の促進と支援(重点事業)	継続	修正	<ul style="list-style-type: none"> ・加賀市の魅力を高めるため、ボランティア組織等の更なる充実とその育成を図ること。 ・北前船については、日本遺産への認定等も踏まえ、積極的に内外への情報発信を図ること。
加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業(重点事業)	継続		
北前船の里資料館管理(公の施設)	優		

【第7テーマ】 分野： 都市基盤

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			
柴山潟浸水対策事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策だけでなく、観光面も視野に計画的に進めること。

【第8テーマ】 分野： 都市基盤

テーマ・施策	内部	評価	コメント
事務事業名	評価	結果	
地域間ネットワークの整備を進めます			
加賀温泉駅前活性化対策事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・市の玄関口となる加賀温泉駅前の整備に向けては、人が集まり、にぎわい創出につながるような、機能的なデザインとすること。 ・利便性の高い地域間ネットワークの整備に向け、都市マスタープランを策定すること。
都市計画基礎調査事業	継続		

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	健康・福祉	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	1. 医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます		
事務事業	①	医師招へい推進策事業	
	②	地域医療推進事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	医師招へい推進策事業			整理番号	A202	
	事業内容	医師の派遣を受けている金沢大学・金沢医科大学・福井大学医局との関係強化のため、各科教授等との面談を年間を通して行っていく。そして、医師の手当制度を改善するとともに、研修に係る費用負担の強化を図るなど処遇の改善を行うことで、勤務先として選んで頂きやすい体制を整える。 また、将来を担う優れた医療人を育成する病院を目指し、丁寧な指導と豊富な救急症例によって、長期・短期の臨床研修医や医学部生の実習を積極的に受入れていく。				H28決算額 (千円)	68,760
内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	本事業は、加賀市医療センターが市内唯一の急性期病院として、地域に必要とされる医療を安定的に提供し、更に医療の質の向上を図るため必要であるから、今後も継続して実施する必要がある。		
	費用対効果	高い					
②	事務事業名	地域医療推進事業			整理番号	A206	
	事業内容	地域の医療に関する市民・医療機関・行政の役割の相互理解・連携を促進し市民が安心して暮らせる地域医療体制の充実を図る。 ・加賀市医療提供体制基本構想の推進に係る調査検討と地域医療の充実を図るため、地域医療審議会を継続的に開催している。また、救急医療について、関係者で救急医療の状況について認識を共有しながら、継続的に救急医療懇話会を開催している。 ・かもまる講座、健幸長寿講座等で救急医療の現状や地域医療を守る条例の周知啓発を行った。				H28決算額 (千円)	1,309
内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	市の医療提供体制を中長期的に持続するためには、加賀市医療センターの建設による急性期医療資源の集約にとどまらず、昨年度策定された「石川県地域医療構想」、今年度策定される次期の「石川県医療計画」をふまえ、慢性期病院、診療所、介護サービスまでを含めた役割分担を行う必要があり、状態に応じた適切なサービスを提供する体制を整備する必要があることから、継続が必要と考える。		
	費用対効果	普通					
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	計		
H28決算額(千円)		0	0	70,069	70,069		

その他・備考

- ①医師招へい推進策事業
- ・4月 常勤医の増員 1名
 - ・金沢大学病院からの長期臨床研修医受入れ 1名
 - ・自治医科大学病院からの短期臨床研修医受入れ 8名
 - ・金沢大学医学部生の実習受入れ 6名
- ②地域医療推進事業
- ・加賀市地域医療審議会を開催(7月～3月:3回)
 - ・加賀市救急医療懇話会を実施(2月)
 - ・かが健幸長寿講座、かもまる講座で地域医療を守る条例等の周知啓発

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	健康・福祉	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	2. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます		
事務事業	①	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)	
	②	地域福祉コーディネート業務委託事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)			整理番号	A301
	事業内容	<p>平成28年3月から、従来は介護予防給付として提供していた介護予防訪問介護と介護予防通所介護について、介護予防・日常生活支援総合事業として、訪問型サービス(介護予防訪問介護相当サービス)及び通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス)を継続して以前と同様のサービスで提供を開始した。</p> <p>さらに、平成28年4月から、家事支援サポーター(家事支援サポーター養成講座を受講した地域住民)による家事支援サービス(訪問型サービスB)を実施した。</p> <p>また、介護予防ケアマネジメント事業として、利用者の状況を踏まえた目標を設定し、これらのサービス等の利用について検討し、ケアプランの作成を行っている。</p>				H28決算額 (千円)
内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充		
	費用対効果	高い				
<p>介護認定の手続きをすることなく、基本チェックリストで生活状況の把握をおこない、アセスメントに応じて総合事業のサービスを利用できることで、高齢者本人が、必要時タイムリーに利用が出来る仕組みになっている。</p> <p>家事支援サービスの開始により、訪問介護と家事支援サポーターとのサービス内容において整理ができた。また、家事支援サポーターは、元気高齢者の活動の場としても位置づいている。</p>						
②	事務事業名	地域福祉コーディネート業務委託事業			整理番号	A302
	事業内容	<p>より身近で、きめ細やかな高齢者の見守りや相談、支援等を効果的に行うため、地域での相談窓口となる「地域包括支援センター窓口(ランチ)」を設置した。</p> <p>そこに、友人やご近所、世話焼きさん、地域団体、ボランティア等といった支援の担い手とのコーディネートや地域福祉活動の後方支援等を行う「地域福祉コーディネート」の機能を併せた体制をとっており、現在14か所の事業所を設置した。</p>				H28決算額 (千円)
内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充		
	費用対効果	高い				
<p>・支援を必要としている人だけでなく、支援をしたいと思っている高齢者ともつながることで、元気な高齢者の活躍の場の創設にもなっている。</p> <p>・民生委員や地域のサークル、サロン等とともに連携し、高齢者を支援しているケースもある。</p> <p>・連絡会やブロック連絡会を通し、事例検討等実施することで、事業所自身の質の向上について検討できる場を設けることができた。</p> <p>・各地区に設置予定。</p>						
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	計	
H28決算額(千円)		71,671	0	121,123	192,794	

その他・備考

- ①介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)
- 通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス) 利用人数 延べ3,935人
 - 訪問型サービス(介護予防訪問介護相当サービス) 利用人数 延べ2,648人
 - 家事支援サービス 利用人数 延べ229人
 - 介護予防ケアマネジメント 請求件数 延べ2,768件
- ②地域福祉コーディネーター業務委託事業 実施箇所数 11カ所

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	健康・福祉	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	3. 障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせるまちづくりを進めます		
事務事業	①	じりつ支援協議会運営強化事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	じりつ支援協議会運営強化事業				整理番号	A401
	事業内容	<p>障がい者及び障がい児(以下「障がい者等」という。)の地域生活を支援するため、地域の関係者によるネットワークを構築する。</p> <p>関連する関係機関や関係団体、保健、医療、福祉、教育、就労等の多分野・多職種による関係者が地域の実情に応じた支援体制の整備を図るという共通の目的に向け、情報や地域の現状・課題を共有し、連携の緊密化を図る。</p> <p>平成28年度においては、「障がい福祉全体会」を年間3回、「運営会議」及び「相談事業所連絡会」を月1回、ケース検討会を週1回開催したほか、ネットワークの構築、地域課題の具体化と共有、課題解決のための取り組みとして、4つのワーキンググループにより検討を行った。</p>				H28決算額 (千円)	4,547
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	障がい者等を地域で支える仕組みを考え、必要な情報を交換できる場として、今後も継続的に開催することが必要である。できることから一步一步進めていき、障がい者等の支援について協働する場として機能させる。	
	費用対効果	普通					
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	計		
H28決算額(千円)		2,540	0	2,007	4,547		

その他・備考

第1回加賀市じりつ支援協議会 障がい福祉全体会 平成28年5月23日(月)

- ・じりつ支援協議会の体制について(障がい福祉全体会、運営会議、ワーキンググループ等の関係)
- ・年間スケジュールについて
- ・各ワーキンググループ・相談事業所連絡会の紹介 等

第2回加賀市じりつ支援協議会 障がい福祉全体会 平成28年10月21日(金)

- ・各ワーキンググループ・相談事業所連絡会の中間報告
- ・地域生活支援事業(※)の評価(グループワーク)
- ⇒ 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会で評価結果を協議し、意見をいただいた。
- ・じりつ支援協議会に必要なこと(グループワーク) 等

第3回加賀市じりつ支援協議会 障がい福祉全体会 平成29年3月17日(金)

- ・地域生活支援事業の評価結果について
- ・各ワーキンググループ・相談事業所連絡会報告
- ・人材育成・定着について(グループワーク) 等

※ 地域生活支援事業は、障がいのある人が、その地域で「あたりまえの生活」ができるように、地域の状況に応じた柔軟な形態による福祉サービス事業を市町村の裁量で行うことができる事業。(相談支援事業、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター事業 等)

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	産業	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	4. 新たな産業の創造に向けた取り組みを進めます		
事務事業	①	企業誘致推進事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	企業誘致推進事業				整理番号	E301
	事業内容	企業立地を推進することにより雇用の場を確保し、市民生活の安定を図るとともに、人口減少、特に若年者の市外流出を抑制する。さらに土地の有効活用、企業の設備投資を促し、税収の増加を図る。				H28決算額(千円)	41,890
	内部評価	有効性	高い	成果(総合評価)	継続	昨年度までに市外から進出を表明していた2企業が操業を開始したほか、市内2企業が拡張し操業を開始、また市内1企業が新規操業するなど、186名の新規常用雇用の場が創出された。 企業等の進出により、雇用の場の創出、地域経済の活性化、人口減少の抑制など大きな効果が期待できることから、継続して実施する必要がある。	
	費用対効果	高い					
財源		国・県支出金	起債	一般財源	計		
H28決算額(千円)		0	0	41,890	41,890		

その他・備考

平成28年度の取り組み

- ・室員による企業訪問、進出を検討する企業への用地等の紹介。立地にあたっての地元関係団体等との調整、効果的な企業誘致手法の調査研究を実施。
- ・企業誘致の経験、知識に長ける「企業誘致専門官」を首都圏、近畿圏に各1名配置。積極的な誘致活動を実施し企業誘致の実現に貢献。
- ・速やかに企業立地が行えるよう事業所適地を選定するための土地調査を実施。
- ・企業誘致に有益な情報を提供し、進出を希望する企業との連絡調整、協議の仲介等を行った「企業誘致推進員」に対して成功報酬を支払い。
- ・旧市民病院に地域の賑わいづくり、人材育成につながる専門学校アリス学園を誘致。専門学校誘致にあたり、学生寮として活用する旧医師官舎の補修費を負担。

平成28年度立地実績

- 市外からの新規進出企業
 小松ウオール工業株式会社加賀工場（新保町地内）、エネックス株式会社加賀工場（山中温泉菅谷町地内）
- 市内事業拡張企業
 株式会社ソディック加賀事業所（宮町地内）、株式会社昭宝製菓（箱宮町地内）
- 市内新設企業
 株式会社ナカジ・ペイント・ワークス（上野町地内）
- その他
 専門学校アリス学園加賀校（大聖寺八間道地内）

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	観光	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	5. 観光PRの強化を進めます		
事務事業	①	観光交流促進事業	
	②	コンベンション誘致助成事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	観光交流促進事業				整理番号	F110
	事業内容	<p>(一社)加賀市観光交流機構を中心に官民が一体となり、多彩な地域資源や素材を活かした観光商品づくりや、情報の発信・誘客を行うことを目的としており、市としてもその構成員として参加するとともに、事業に対して支援することで、効果的に加賀市の観光推進を図る。</p> <p>H28年度実績</p> <p>①MICE誘致事業＝対象宿泊者13,000名 ②永平寺お出かけ号運行事業＝販売数12,000枚 ③地域イベントへの支援(加賀温泉郷マラソン・温泉ライダー・県境綱引きetc) ④国内最大級旅行見本市(ツーリズムEXPOジャパン)ブース出展 ⑤大手旅行会社店頭でのPRキャンペーン実施・近隣地域集客イベントでのPR ⑥(一社)加賀市観光交流機構への会費負担</p>				H28決算額 (千円)	16,806
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	官民が一体となり、観光資源の磨き上げ、観光情報の発信、旅行商品の企画販売を戦略的に展開することで、効果的な観光誘客が図られている。今後は、地域観光に対するマネージメント機能を強化させることが必要とされる中、日本版DMO候補に認定されている(一社)加賀市観光交流機構を中心に、観光マーケティングの調査分析を新たに行い、北陸新幹線金沢開業3年目以降とその先の敦賀延伸も見据えながら、官民一体となった誘客促進の強化を図ることとする。	
	費用対効果	高い					
②	事務事業名	コンベンション誘致助成事業				整理番号	F102
	事業内容	<p>加賀市内で50人以上の宿泊を伴う、市内及び近隣市町で開催されるコンベンション(大会、総会、会議、学会、研究会、講習会、セミナー、シンポジウム、見本市、文化イベント、スポーツイベント、合宿、修学旅行など)の開催に要する経費の一部を助成することで、コンベンション開催を促進し、加賀温泉郷への誘客を図る。</p> <p>H28年度実績 122件 コンベンション参加者数18,251名 対象宿泊者数18,744人</p>				H28決算額 (千円)	13,736
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	拡充	平成27年度と比較し、参加者数が493名減、対象宿泊者数が1,113名減であったが、開催件数は18件増加した。旅行代理店や宿泊施設が、コンベンション開催誘致を促すための有効な施策であり、結果として誘客につながっている。北陸新幹線金沢開業により首都圏からのアクセスが向上したことから、今後も加賀市及び近隣市町でのコンベンション開催件数は増加していくことが予想されるため、助成条件を緩和して、更なる誘客強化を図る。	
	費用対効果	高い					
財 源		国・県支出金	起債	一般財源	計		
H28決算額(千円)		0	0	30,542	30,542		

その他・備考

--

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	文化・教育	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	6. 地域の文化を高揚します		
事務事業	①	市民文化活動の促進と支援	
	②	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業	
	③	北前船の里資料館管理	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	市民文化活動の促進と支援				整理番号	(重点)D106
	事業内容	九谷焼美術館及び北前船の里資料館の各展示施設において、ボランティア解説員による展示解説を行っている。解説員は九谷焼美術館14名、北前船の里資料館6名で年間延べ365回実施。				H28決算額(千円)	150
	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	継続	来館者の理解、満足度を高めるとともに、高齢者中心の解説員の生きがいとなっている。九谷焼美術館では解説ボランティアグループが中心となって解説ボランティア養成講座を実施しており、H28年度は3名、H29年度は2名が受講している。	
	費用対効果	普通					
②	事務事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業				整理番号	(重点)D108
	事業内容	平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀橋立伝建地区において、保存計画に基づき保存修理事業等を実施することで、伝統的建造物群を文化財として保存するとともに、地域活性化や観光振興を図る。				H28決算額(千円)	20,204
	内部評価	有効性	普通	成果 (総合評価)	継続	破損の大きい伝統的建造物が見られるので、保存修理事業を継続していくことが必要である。また、地区内の安全性を確保するため、防災事業を継続していくことが必要である。	
	費用対効果	普通					
③	事務事業名	北前船の里資料館管理				整理番号	(公の施設)A03
	事業内容	重伝建加賀橋立地区内にある北前船専門の資料館として、児童生徒への学習の機会を提供するとともに観光施設として情報発信を行う。また、市有形文化財に指定されている貴重な建物であることから適正な管理を行う。 北前船の里資料館については、受付等の管理業務、清掃・設備等の保守点検管理を委託している。企画事業費として全国北前船セミナー開催事業として助成しており、また、ミュージアムグッズの製作も行っている。				H28決算額(千円)	15,037
	内部評価	有効性	-	成果 (総合評価)	優	適正な施設管理を行うとともに、市の観光・教育施策の方針に対応した運営を行っているが、文化財保護課との連絡、情報共有を密にし、歴史的建造物としての適切な維持管理を行うとともに、さらなる観光客誘客に効果的な情報発信、展示手法を検討していく。	
	費用対効果	-	優/良/可/不可				
財源		国・県支出金		起債	一般財源	計	
H28決算額(千円)		15,000		4,600	15,791	35,391	

その他・備考

②加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業
 主屋1棟及び土蔵1棟について保存修理事業を実施
 防災事業として防火水槽設計業務を実施
 保存啓発事業を実施

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	都市基盤	視点	『将来への備え』
施策(テーマ)	7. 市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます		
事務事業	①	柴山潟浸水対策事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	柴山潟浸水対策事業				整理番号	B109
	事業内容	近年の集中豪雨により浸水被害が多発した片山津温泉市街地において、柴山潟の高水位に対応する石川県施工の堤防事業とあわせ市街地の雨水排水を強化する内水排水施設を整備することにより、都市機能の確保とともに人命ならびに財産の保護を図る。				H28決算額(千円)	57,300
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	片山津温泉市街地の都市機能の確保とともに、人命ならびに財産の保護に不可欠な事業であり、今後も継続が必要と認める。	
	費用対効果	普通					
財源		国・県支出金		起債	一般財源	計	
H28決算額(千円)		5,000		52,300	0	57,300	

その他・備考

- ①事業年度 : 平成20年度～28年度(加賀市片山津地区下水道総合浸水対策緊急計画)
- ②総事業費 : 約20億円
- ③事業内容 : 雨水排水ポンプ場整備 3基
: 雨水調整池整備 1箇所
: 雨水連絡管整備 約2km
: 内水ハザードマップ配布(片山津温泉地区、片山津町、潮津町(柴山潟周辺部))
- ④今後の方向性 : 台風、ゲリラ豪雨等の強雨時での稼働状況を確認しながら、必要に応じ機器の改良を行う。

「公開外部評価会」評価テーマ別総括表

政策	観光	視点	『成長戦略』
施策(テーマ)	8. 地域間ネットワークの整備を進めます		
事務事業	①	加賀温泉駅前活性化対策事業	
	②	都市計画基礎調査事業	

事業の概要及び実施状況

①	事務事業名	加賀温泉駅前活性化対策事業				整理番号	B208
	事業内容	加賀温泉駅活性化対策事業に関しては、平成34年度末の北陸新幹線金沢敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的として駅舎及び駅周辺の整備を行う。 H28年度加賀温泉駅前活性化対策事業においては、加賀温泉駅施設整備検討委員会を4回開催し、駅前の配置基本計画を策定した。				H28決算額 (千円)	7,261
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	加賀温泉駅施設整備検討委員会を4回開催し、加賀温泉駅内部及び駅前のバス・タクシー等の交通施設、観光案内所等の配置基本計画を策定した。 今後は加賀温泉駅施設整備基本設計及び駅前施設のデザイン設計を行い、鉄道運輸機構が施工する新幹線駅舎と調和を図る。	
	費用対効果	高い					
②	事務事業名	都市計画基礎調査事業				整理番号	B205
	事業内容	用途が混在することによる住環境の悪化防止と、温泉街の賑わい創出を目的に、土地利用と都市施設の計画を立案する。 (1) 山代地区の用途地域の見直し (2) 山中温泉菊の湯周辺の広場整備基本方針策定 (3) 柴山瀧湖岸の遊歩道計画のための沿線施設現況調査				H28決算額 (千円)	5,454
	内部評価	有効性	高い	成果 (総合評価)	継続	人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応した都市づくりを都市計画マスタープランに沿って実現するために、土地利用と都市施設に関する具体的な課題を把握して、都市計画の見直しと事業の実施を継続して検討する。	
	費用対効果	高い					
財源		国・県支出金		起債	一般財源		計
H28決算額(千円)		0		0	12,715		12,715

その他・備考

--